

2012年4月30日 日刊工業新聞



東南アジア諸国連合（ASEAN）の経済相ら11人が特殊油圧シリンダーを生産する南武（東京都大田区）を訪れた。野村和史社長は「大田区が当社を育ててくれている」と各國經濟相に語りかけた。

2008年秋のリーマン・ショック後に同社の売上高は40%落ちたが、11年度はリーマン前80%程度まで回復した。「社員の首を切らすに済んだのは区のサポートのおかげ」と自治体支援を力説する。「他の国への進出予定は」と問われた野村社長は、「将来イン

ASEAN 経済相 南武を訪問

南武の工場を視察する
ASEAN 経済相

ドにも進出したいが、今は現地法
人のあるタイの仕事で大忙しだ」と返し、アジアでの事業拡大意欲を表明。中小企業のグローバル展開例として、経済相から熱い視線

を浴びていた。